

— 総括表 —		
◆ 事業計画		
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 コロナ禍以前よりも地域の繋がりや介護予防、高齢者の孤立防止等の重要性の意識が高まってきているため、この危機をきっかけとしてケアプラザからの情報提供に地域情報の発信も積極的に含めていきます。既存事業を見直し、地区社協や民生委員はもちろん他施設、他機関と連携協力し、新たな担い手の発掘に繋げていきます。		
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組		
新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【相談・支援】 地域の身近な相談窓口であることを地域に出向き発信します。 ブログ・インスタグラムなどを通じた発信も行います。 関係機関との連携に、リモートの活用も行っていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【社会資源の開拓・開発・支援】 感染対策を講じて、地域ケア会議開催します。地域サロンへ積極的に参加し、情報収集を行います。 福祉関係のネットワークに捉われず、幅広い視点でネットワークを広げます。 地域課題につながる事例から地域ケア会議を開催します。抽出された地域課題を包括レベル地域ケア会議に繋
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【地域ケアプラザの場を生かした支援】 5職種共催事業「Wa! サロンDa」にて、国際交流ラウンジと連携し、外国の文化に触れる機会を設けます。 住民の得意分野を生かした取り組みに対して、作品展等を企画し、活動の発展を支援します。 障害施設の紹介や作品も展示することで、障害理解の場としても活用します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【認知症支援事業】 子育て世代などにも認知症についてサロンや講座で周知します。 広報紙、SNSなどを活用して認知症についての発信を行います。 認知症サポーター養成講座を通じて認知症についての普及啓発を行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	【在宅医療・介護連携推進事業】 個別ケース相談を通じて在宅医療について情報提供を行います。 在宅医療に関する講座を開催します。在宅医療連携拠点と連携を図り、情報共有、発信を行います。
◆ 事業報告・事業実績評価		
<input type="checkbox"/> 振り返り 昨年度に続き、地域行事や定例会、町内活動に積極的に参加。コロナ禍で休止している地域活動にもアプローチを行い、活動再開に至る活動も増えている。また、地域の身近な相談窓口として、ケアプラザの周知を意識して取り組むことができた。 広報紙やケアプラザ事業などで認知症について普及啓発を行い、認知症サポーター養成講座を実施。地域ケア会議でも認知症について取り上げた。民生委員とケアマネジャーの交流会を行い、ネットワークを構築することができた。 「ケアプラザ祭り」を今年度初開催した。地域の幅広い世代にケアプラザを周知する機会となり、貸館団体の活動発表機会、エリア内小中学校や国際交流ラウンジとの連携により、ケアプラザ登録団体、多世代、障害者、外国人、全ての来館者がつながりを感じられる機会とした。		
<input type="checkbox"/> 区からのコメント 地域行事や団体の定例会、町内活動に参加することを契機に見守りキーホルダー登録会の開催に繋げるなど、つながりを活かして地域との接点を作っています。 国際交流ラウンジなど関係機関と連携したり、ブログやインスタグラムなどのSNSを活用して、情報発信に努めています。 コロナ禍で停滞している地域活動活性化のため、活動者の支援や新たな担い手の発掘を進めてください。		

令和4年度本牧和田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、全職員対象に公正・中立に関する研修を行います。 ・サービス事業者等の紹介に当たっては、特定の事業者等に偏らず、利用者のニーズに添って複数事業の紹介を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上、全職員対象に事故防止・個人情報保護に関する研修を行います。 ・業務マニュアルの定期的な見直しを行い、再発防止に取り組みます。
実績	職員会議及び個別の面談で研修を実施、サービス事業所の紹介にあたっては複数の資料を用いることで対応を行った。	職員会議及び個別の面談で研修を実施、個人情報保護、安全管理マニュアルを用いた研修を行った。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が介護予防についての目的や目標を理解し、その目標達成のために必要なサービスや手段を活用して、目標達成に取り組めるような計画を作成し実行することができる。	介護認定を受けた利用者が、可能な限り在宅で自立した日常生活をおくるため、必要なサービスを適切に利用できるよう、利用者および家族の選択に基づいた計画を作成し、実行できる。
職員体制	主任ケアマネジャー(管理者兼務)1名、 社会福祉士1名、 看護師1名	主任介護支援専門員(管理者兼務)1名 主任介護支援専門員1名 介護支援専門員1名
契約者数	131名	73名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者の意思を尊重し、個別性に配慮した計画を作成し、自立した日常生活(要介護状態の予防、軽減または悪化の防止)を営むことができるよう支援します。		
実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30~16:30 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	利用料は介護保険法の規程により定められた、通所介護事業、指定第1号通所介護事業のサービスに係る費用の額 実費は食事代として780円		
職員体制	管理者1名・生活相談員3名 介護職員21名(相談員兼務・運転手兼務含む) 看護師兼機能訓練指導員4名		
契約者数等	【延べ利用者数】 6375名 【契約者数】 77名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,295,448		15,295,448	15,295,448	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	40,000		40,000	56,400	△ 16,400	
横浜市による運営支援	0		0	575,000	△ 575,000	物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	248,562	0	248,562	238,280	10,282	
印刷代	30,000		30,000	9,780	20,220	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
ITC整備費（追加）	0		0	198,000	△ 198,000	
サニタリーボックス（追加）	0		0	5,000	△ 5,000	
その他	218,562		218,562	25,500	193,062	
その他	3,772,938		3,772,938	62,104	3,710,834	追加修繕
収入合計	19,356,948	0	19,356,948	16,227,232	3,129,716	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,079,886	0	12,079,886	10,565,004	1,514,882	
本俸	10,270,000		10,270,000	7,030,185	3,239,815	
社会保険料	1,070,000		1,070,000	982,508	87,492	
手当計	600,000		600,000	2,390,666	△ 1,790,666	
健康診断費	21,886		21,886	32,180	△ 10,294	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	118,000		118,000	119,052	△ 1,052	
その他	0		0	10,413	△ 10,413	
事務費	1,700,000	0	1,700,000	620,266	1,079,734	
旅費	20,000		20,000	4,890	15,110	
消耗品費	875,000		875,000	188,681	686,319	
会議賄い費	0		0	7,718	△ 7,718	
印刷製本費	30,000		30,000	12,980	17,020	
通信費	490,000		490,000	207,281	282,719	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	95,000		95,000	0	95,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	7,537	2,463	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	43,000		43,000	0	43,000	
手数料	30,000		30,000	0	30,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	77,000		77,000	191,179	△ 114,179	
事業費	400,000	0	400,000	228,207	171,793	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000		400,000	228,207	171,793	
その他	0		0	0	0	
ITC整備費（追加）	0		0	198,000	△ 198,000	
ITC整備費（追加）	0		0	198,000	△ 198,000	
オンライン相談機器整備費（追加）	0		0	0	0	
オンライン相談機器整備費（追加）	0		0	0	0	
サニタリーボックス（追加）	0		0	1,100	△ 1,100	
サニタリーボックス（追加）	0		0	1,100	△ 1,100	
管理費	4,703,062	0	4,703,062	3,692,620	1,010,442	3,692,620
光熱水費	2,508,000		2,508,000	2,731,373	△ 223,373	
清掃費	205,364		205,364	205,364	0	
機械警備費	87,596		87,596	87,596	0	
設備保全費	561,098	0	561,098	530,081	31,017	
空調衛生設備保守	58,397		58,397	58,397	0	
消防設備保守	55,964		55,964	55,964	0	
電気設備保守	216,069		216,069	138,450	77,619	
害虫駆除清掃保守	55,477		55,477	55,477	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	175,191		175,191	221,793	△ 46,602	
共益費	1,341,004		1,341,004	138,206	1,202,798	
その他	0		0	0	0	
修繕費	474,000		474,000	536,104	△ 62,104	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	385,931	△ 385,931	デイサービスへ繰入
支出合計	19,356,948	0	19,356,948	16,227,232	3,129,716	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	40,000	0	40,000	56,400	△ 16,400	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	228,207	171,793	
自主事業 収支	△ 360,000	0	△ 360,000	△ 171,807	△ 188,193	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「本牧和田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	23,664,000		23,664,000	23,580,000	84,000	横浜市より 協力医返金84,000
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0	3,950	△ 3,950	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0	44,700	△ 44,700	
雑入	0	0	0	8,000	△ 8,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
その他	0		0	8,000	△ 8,000	広報誌作成補助金
その他	1,170,000	△ 1,170,000	0	16,508	△ 16,508	追加修繕16,508
収入合計	30,790,000	△ 1,170,000	29,620,000	29,609,158	10,842	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,390,000	0	27,390,000	26,721,539	668,461	
本俸	21,433,000		21,433,000	14,426,400	7,006,600	
社会保険料	1,362,000		1,362,000	3,682,149	△ 2,320,149	
手当計	3,592,320		3,592,320	8,099,935	△ 4,507,615	
健康診断費	551,680		551,680	34,065	517,615	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	451,000		451,000	452,553	△ 1,553	
その他			0	26,437	△ 26,437	
事務費	1,006,000	0	1,006,000	841,187	164,813	
旅費	20,000		20,000	2,702	17,298	
消耗品費	67,000		67,000	86,394	△ 19,394	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	19,000		19,000	6,840	12,160	
通信費	352,000		352,000	292,630	59,370	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	300,000		300,000	0	300,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	15,074	4,926	
職員等研修費	100,000		100,000	23,358	76,642	
振込手数料	30,000		30,000	495	29,505	
リース料	86,000		86,000	0	86,000	
手数料	12,000		12,000	0	12,000	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	413,694	△ 413,694	
事業費	969,000	0	969,000	788,402	180,598	
協力医	630,000		630,000	546,000	84,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	45,000		45,000	16,522	28,478	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	157,950	△ 3,950	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	140,000		140,000	67,930	72,070	
その他	0		0	0	0	
管理費	1,299,000	0	1,299,000	981,575	317,425	
光熱水費	666,835		666,835	726,061	△ 59,226	
清掃費	267,456		267,456	54,588	212,868	
機械警備費	23,284		23,284	23,284	0	
設備保全費	149,150	0	149,150	140,904	8,246	
空調衛生設備保守	15,523		15,523	15,523	0	
消防設備保守	14,876		14,876	14,876	0	
電気設備保守	57,435		57,435	36,802	20,633	
害虫駆除清掃保守	14,747		14,747	14,747	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	46,569		46,569	58,956	△ 12,387	
共益費	36,738		36,738	36,738	0	
その他	155,537		155,537	0	155,537	
修繕費	126,000		126,000	142,508	△ 16,508	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	133,947	△ 133,947	デイサービスへ繰入
支出合計	30,790,000	△ 30,790,000	0	29,609,158	△ 29,609,158	
差引	0	29,620,000	29,620,000	0	29,620,000	

自主事業費 収入	0	0	0	48,650	△ 48,650	
自主事業費 支出	339,000	0	339,000	242,402	96,598	
自主事業 収支	△ 339,000	0	△ 339,000	△ 193,752	△ 145,248	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 本牧和田地域ケアプラザ

2022年4月1日~2023年3月31日

(単位: 千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	4,174	3,499	675	4,174	4,323	-149	16,792	15,515	1,277	58,517	52,670	5,847	2,398	3,312	-914
その他	0	0	0	0	0	0	23	335	-312	24,336	27,672	-3,336	715	1,073	-358
事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,634	12,840	-1,206	715	1,073	-358
受託収入	0	0	0	0	0	0	23	335	-312	0	0	0	0	0	0
施設使用料相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,588	3,588	0	0	0	0
利用者等外給食費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247	221	26	0	0	0
補助金、寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		327	-327	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,867	10,696	-1,829	0	0	0
収入合計(A)	4,174	3,499	675	4,174	4,323	-149	16,815	15,850	965	82,853	80,342	2,511	3,113	4,385	-1,272
支出															
人件費	0	0	0	0	0	0	15,915	13,412	2,503	57,234	55,121	2,113	0	0	0
事務費	0	0	0	0	0	0	661	501	160	5,059	4,474	585	0	0	0
事業費	0	0	0	0	0	0	57	0	57	5,875	5,279	596	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	295	242	53	11,877	11,283	594	0	0	0
その他	2,828	2,860	-32	2,828	3,535	-707	0	0	0	3,940	8,804	-4,864	0	0	0
介護予防プラン委託料	2,828	2,860	-32	2,828	3,535	-707	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,363	-3,363	0	0	0
固定資産(勤怠ソフト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	119	-14	0	0	0
施設使用料相当額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,588	3,588	0	0	0	0
利用者等外給食費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247	221	26	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,513	-1,513	0	0	0
支出合計(B)	2,828	2,860	-32	2,828	3,535	-707	16,928	14,155	2,773	83,985	84,961	-976	0	0	0
収支 (A)-(B)	1,346	639	707	1,346	788	558	-113	1,695	-1,808	-1,132	-4,619	3,487	3,113	4,385	-1,272

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症予防 学習・交流サロン「なごみ」	H22	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音読、計算等を行う学習時間と参加者同士の交流を通して在宅で暮らす高齢者の認知症及びその他の認知機能障害を予防する。定期的な外出機会と交流の場の提供により、地域での孤立・閉じこもり生活を予防する。	1:高齢者	5:地域	音読・計算等を行う学習プログラム ・参加者同士の歓談やレクリエーションによる交流・情報交換 ・健康な生活を送るための情報提供	12	122
2	子育てサロン	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て中の親子が集える場の提供をすることで、地域の養育者や子ども同士の交流を促進する。参加者同士の情報交換、育児イベント等の情報提供を通し、養育者の孤立を予防する。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	子育て中の親子で集えるサロン形式で実施。主任児童委員、民生委員児童委員と連携して運営する。 通年:毎月第3木曜日	12	114
3	Wa! サロンDa	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	子どもから高齢者まで世代関係なく、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指す。またボランティア等の活動を支援する。	5:地域	6:事業者	5職種共催で行う、「誰もが立ち寄れるサロン」として開催。地域で活動する団体等をゲストとして招き、講話等を行うこともある。 通年:毎月第3水曜日 13:30から15:00	12	172
4	「ほんもくケセラセラ」と楽しく歌いましょう!	H30	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	音楽や運動を通じた身体の活性化や仲間づくりを目的としている。	5:地域		唱歌や懐メロをみんなで歌ったり、脳トレと運動を組み合わせた「コグニサイズ」を行う	11	122
5	打楽器コンサート	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもたちに生の音楽に触れる楽しさを知ってもらい、五感を刺激することで発達の促進も期待できる。また、親子の情報交換や交流も目的としている。	3:養育者及び乳幼児		①本格打楽器コンサートの鑑賞 ②手作り楽器でコンサートに参加 ③楽器に触れる体験	1	48
6	味噌づくり講座	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	味噌づくり体験を通じた参加者同士の地域交流や、食の学びを目的とする。	5:地域		講師の指導のもと味噌づくり体験を行う	1	24
7	UVレジンのキーホルダーづくり	R4	2:地域活動交流事業	2:優先的に取り組み	夏休みの時期に小学生を対象に、イベントを実施し、学齢期の子ども達にケアプラザに足を運んでもらう。	4:子ども・青少年	3:養育者及び乳幼児	UVレジンを使用し、キーホルダーづくりを行う	1	37

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
8	料理教室 (キッズ防災ランチ)	R4	3:地域活動交流事業	3:優先的に取り組み	防災食をテーマに、災害時でも活用できる調理法や栄養について学ぶ。男性対象、小学生対象など、対象に応じた調理を検討していく。	7:地域		①栄養に関する講話 ②防災食を作る 10月は、小学生向けの「キッズ防災ランチ」	2	25
9	ボランティア活動支援	H20	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域でボランティア活動をする人、また活動したい人を支援する。また受け入れ団体と結び付けることで、地域づくりに繋げる	5:地域		新規ボランティアの募集と登録。受入希望団体等のリスト作成。受入先とのコーディネート	2	9
10	本牧中学校 「ボランティアの会」 活動支援	H23	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学生がボランティア活動を通じて、地域で誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを学ぶ機会作り。また自分たちが出来ることを実践する機会を提供する。	4:子ども・青少年		本牧中学校ボランティアの会への参加ボランティア活動への参加の呼びかけボランティア活動の場の調整と提供。活動時の支援等。	1	6
11	中学校・高等学校 実習受け入れ (福祉体験学習) (職業体験学習)	H21	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	福祉施設での職業体験を通して、誰もがその人らしく生活できるよう支え合っていくことの大切さを知る。自身で支援出来ることを見つけて実践しようとする気持ちを育てる。福祉施設を利用しようとする人の思いや願を理解する。	4:子ども・青少年		施設見学、事業内容概要説明のオリエンテーション。 車椅子体験やデイサービスでの話し相手等の福祉体験学習を実施する。	0	0
12	世代間交流会	H18	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	世代を越えた交流を通じ、地域で支え合い、挨拶や見守り等をし合える関係が構築できる。	1:高齢者	4:子ども・青少年	①本牧中学校ボランティアの会と間門荒井の老人会(間門さくら会)との交流会(合唱発表やレクリエーション)を実施。 ②小学校の放課後居場所事業「放課後キッズクラブ」と連携し児童と高齢者等、異世代が関わることができる場を実施する	0	0
13	振込め詐欺被害防止に向けた啓発活動 *山手警察署ボランティアと連携	H25	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	振込め詐欺の被害を防止する。地域での支え合い、地域福祉活動を始めるきっかけ作り	5:地域	7:その他	年金支給日に合わせ、郵便局・信用金庫等の前で振込め詐欺への注意喚起のリーフレット配布や声掛けをボランティアと一緒に。8月15日に実施予定。	0	0
14	・本牧・根岸地区社協 一人暮らし高齢者食事会 ・本牧三之谷茶話会 ・元町南部食事会 ・大里カフェ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の方との顔の見える関係づくり。また、地域の方との連携強化推進。合わせてケアプラザ事業や地域包括支援センターの周知	1:高齢者	5:地域	地域の活動や行事へ参加すること等を通して福祉・保健等の情報提供や周知を行う。また個別相談等へ繋がる機会を提供する。	13	153

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	広報誌「本牧和田地域ケアプラザ通信」ホームページ	H18	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域福祉・保健関連の情報や地域ケアプラザの事業、ボランティアや地域団体の活動等を地域住民に情報発信し、地域福祉活動への参加促進につながることを目的としている。	5:地域		地域の活動や健康づくり、仲間づくり等の情報、地域ケアプラザの事業や地域団体の活動等を掲載する。自主事業の予定をカレンダー形式で情報提供する。町内会自治会への配布、圏域内の小中学校や障害者福祉施設、介護保険事業所等への配布をしている。	6	6
16	Go Go健康！介護予防講座 介護予防普及強化業務委託事業「本牧いきいき講座」	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の普及啓発と活動支援。①フレイル予防に関する講座を行い、出来るだけ要介護状態にならないよう高齢者が自ら行動できることを目指す。②地域へ出張講座・相談会を実施し、地域の活動の場の再開支援を行う。地域の通いの場作りや継続支援を行い、住み慣れた地域で生活が継続できることを目指す。	1:高齢者	5:地域	本牧和田CP:年間19回（ロコモ予防・口腔機能向上・栄養改善・認知症予防）第1・3火曜を基本とする13:30～15:00	21	371
17	介護者のつどい	H26	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者等の介護者を対象に、日頃の介護疲れを癒し、また同じ悩みや経験を持つ介護者と交流することで在宅介護の継続を目指す。	1:高齢者	6:事業者	①介護者が在宅介護についての悩み等を話合う。情報交換 ②医療や介護の専門職等が介護に役立つような講義や助言を行う。 ③介護者が精神的にリラックスできるような講座の実施 ④その他 ★年2回程度 本牧和田CPIにて実施	6	8
18	認知症サポーター養成講座	H25	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症になっても住み慣れた地域で安心してその人らしく生活をするために、地域住民等に向けて認知症の正しい知識と対応方法等を理解してもらう。	5:地域	6:事業者	①地域のキャラバンメイトと協力し養成講座を実施。 ②地域の団体等や小中学校等に向けて、講座開催の案内をする。 ③サポーター養成講座を修了した人が活動する場の提供 ④その他必要な活動	2	37
19	地域ケア会議	H26	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活することができるような仕組みを作るため、地域ネットワークの構築強化	1:高齢者	5:地域	①個別レベル会議を通じて地域課題を把握する。(年2回程度) ②包括レベル会議で地域課題を地域住民や多職種で検討する(年1回程度)	3	48
20	健康麻雀	R4	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	手と口と頭を同時に動かすことにより認知症予防として高齢者の参加を募る。自主化を狙いとする。	1:高齢者	5:地域	全8回講座 座学を交えながらのプログラムで、麻雀を一から学びたい方限定。	8	124

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
21	スマホ講座	R4	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	スマホの基本操作から学べる場を作り、いずれは情報弱者とならないようインターネットやSNSの活用、また趣味や生き甲斐作りなど日常生活に取り入れることを目標に支援していく。	1:高齢者	5:地域	Softbankに依頼。年に1回、初級と中級編をそれぞれ複数回に分けて実施【初級】地図操作・電話の基本・メッセージ入力・カメラやビデオの撮り方・音声検索【中級】地図の操作・LINE・翻訳アプリ・QRコードの読み取り	6	102

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
22	しめ縄づくり	R3	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	友人同士や親子で参加される方もいるが、同じテーブルに居合わせた参加者同士での共同作業を通じた交流。ケアプラザの周知、また歴史講話を含めることによる男性の方の参加に期待も込めている。	1:高齢者	5:地域	八聖殿郷土資料館との共催事業 ①しめ縄作り ②本牧の歴史講話	1	29
23	勾玉づくり	R4	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・春休みに実施し小学生にCPへ来てもらう事で今後の交流の足掛かりとする。 ・幅広い年齢層が楽しめる勾玉づくりを体験することで、世代間の交流を図る。 ・全世代の人たちがケアプラザの活動に参加できる機会を確保する。	5:地域	1:高齢者	八聖殿郷土資料館館長との共催事業 ・館長より勾玉の起源、由来のお話 ・勾玉づくり	1	14
24	望洋 朝のたいそう会	R4	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・体力に自信のない方でも通うことができる ・体力低下予防、介護予防に繋がる ・気軽な集いの場、交流の場、見守りへと繋がる ・公園愛護会のPRをその場でできる	1:高齢者	5:地域	公園愛護会が活動されている3カ所の公園でのラジオ体操	19	56
25	元気なうちに備える資産管理	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・終活について考える機会とする ・後見制度、遺言、家族信託など幅広く制度を理解できる ・エリア外の方にも本牧和田CPを知っていただく機会とする	1:高齢者		区内6地域ケアプラザ共済事業 9月～各ケアプラザで終活について講座を開催 本牧和田CPでは資産管理について	1	19
26	父親育児支援講座	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て家庭の支援や、男性を巻き込んだ地域の繋がりの場づくりのきっかけとする。 NPO法人全日本育児普及協会の「父親育児支援講座」を活用し、講師を派遣してもらう。	3:養育者及び乳幼児		年度に2回、異なるテーマで実施。 ①「子育て初めの一歩&体を使った遊び」 ②「イライラしない子育て&夫婦のパートナーシップ」	2	24
27	懐かしの名曲 打楽器コンサート	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者を対象に、生の音楽に触れる機会を設ける。地域に出るきっかけや、五感を刺激することで健康づくりにもつながる。	1:高齢者		①本格打楽器コンサートの鑑賞 ②楽器に触れる体験	1	20
28	本牧元町南部歴史ハイキング	R4	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	コロナにより地域活動が止まっている南部町内の高齢者の外出促進、また町内にある独居世帯の多いマンション住人と町内との交流の機会を目的とする。	1:高齢者		八聖殿館長をガイドとした町内の歴史散策 参加者も語り部として参加してもらう	1	14